

としょかんNEWS 第122号



2017年5月25日
湘北短期大学図書館

レポート作成に強い味方！データベースを利用しよう

5月に入り、授業も本格始動！課題もどんどん出てきて大変！！と思いませんか？てっとり早くインターネットで検索・・・しかし、不確実な情報がたくさん混在しています。そんなときは、しっかりした新聞記事・雑誌記事を探しましょう。図書館は過去の記事をキーワードで検索できる便利なデータベースと契約しています。データベースは、**湘北短期大学図書館案内所 > データベースリンク集(学内)**からアクセスしてください。図書館だけでなく、学内ネットワークに接続されたすべてのパソコンから利用することができます。



情報探索ツール
データベースリンク集(学内)
をクリック！

同時ログイン数が限られていますので、使用終了後は必ずログアウトしてください。データベースは就活の業界動向・企業研究と、幅広く活用できます。

あなたの目的に合わせて、生きた正確な情報を収集していきましょう！

＜＜新聞記事＞＞

● 朝日新聞は「聞蔵IIビジュアル」でバッチリ★(1アクセスのみ)

「聞蔵IIビジュアル」は、朝日新聞のオンラインデータベースです。1945年から現在までの記事を検索することができます。週刊朝日、AERAの雑誌記事も検索可能です。

キーワード、発行日での検索の他、現代用語辞典「知恵蔵」の検索もできます。



キーワードを入れる

クリック！

● 日経各紙の記事情報は「日経バリューサーチ」で★(1アクセスのみ)

～就職活動の情報収集にも便利！～

「日経バリューサーチ」は、企業・業界情報、経済統計、商品情報等が調べられるデータベースです。ニュース・記事検索では、2000年以降の日経各紙の記事情報を検索、本文をPDFファイルで表示できます。



クリック！



《雑誌記事》

● 「日経 BP 記事検索サービス」で雑誌記事検索★(複数アクセス可能)

～レポート作成の情報収集・就活情報の収集に便利！～

「日経 BP 記事検索サービス」は、日経 BP 社が発行する雑誌記事を検索できるデータベースです。約 50 種の雑誌記事の情報を検索、本文を PDF ファイルで表示できます。

就活のみならず、読み物としても面白いものがありますので、ぜひアクセスしてみてください。

★閲覧可能雑誌(抜粋)

日経ビジネス／日経ビジネスアソシエ／日経アーキテクチャー／日経エレクトロニクス／日経コンピュータ／日経パソコン／日経コミュニケーション／日経 PC21／日経 WOMAN／日経 TRENDY 等



● CiNii(論文情報ナビゲータ)で学術雑誌記事を検索★(複数アクセス可能)

「CiNii Articles(論文情報ナビゲータ)」は、国内の学術雑誌や研究紀要などに掲載された学術論文の情報が収録されたデータベースです。一部の雑誌は Web 上で本文 PDF が閲覧できます。

また、「CiNi Books」は、他の大学図書館所蔵の本を検索できます。



《事典》

● 百科事典 JapanKnowledge(ジャパノレッジ)で調べよう★(1アクセスのみ)

「JapanKnowledge」は、小学館の百科事典「日本大百科全書(ニッポニカ)」を筆頭に、様々な事典・辞書類が収録されたデータベースで、調べものに最適です。

【連載】「ルーエッセイ(38) 継続中の一冊

図書館情報サービス課 岡廣 聡子

5月といえば“五月病”。

最近では、あまり聞かなくなったような気もしますが…。

思い出すと、中学・高校時代は年中無休の“五月病”だったような気がします。その頃、ミステリー、SF、古典文学など、何の目的もなく本を読んでいたら、たまたま『山月記』(中島敦著)に出逢い、腑に落ちたことを覚えています。

高校の国語の教科書ではおなじみ、最近では、意識高い系小説(この表現も今時で笑えますが…)なんて言われる『山月記』。

エリート官僚だった主人公、李徴が詩人を志し、夢に破れ、狂乱、容姿は虎と化していくという内容。決して希望の持てる明るい内容ではないのですが、なぜか私の気持ちは晴れたのです。

自意識にふれた内容で“臆病な自尊心”と“尊大な羞恥心”というワードが自意識過剰な時

期の心に響くと同時に「なんだ、そうだったのか…」と病名がわかったような安堵感。自分の中でモヤモヤしたものが言葉として明確に現れる爽快感。

しかし、この本の魅力はそんな表層的な部分ではなく、その切り口によっていろいろな読み解き方ができる面白さと大人になって改めて気づくのです。

私には、人生や自己について、未だに考えるきっかけを与えてくれますが、みなさんは、どのように感じられましたか？

思春期の自意識の強さからくる苦しみは、思春期だけのものではなく、多くの体験を通して大人になった今でも顔を出すことがあります。そんな悩み、苦しみ、挫折を体験した大人にこそ、改めて読んでもらいたい一冊です。

ちょっと暗いですが…もしかしら、“五月病”にちょっとした効果があるかもしれませんね。